

## 【温暖化対策の推進】 4. ストップ温暖化プロジェクト

### 4-1 かさまの森林(もり)推進

〈ねらい〉 本市に所在する森林を対象に、市民・事業者と協働により植林や間伐等の森林整備を行うことで、森林の伐採と再生のサイクルを促進し、二酸化炭素吸収量の多い森林を形成します。また、森林整備を通して環境教育・自然体験を行い、市の自然環境に対する保全意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 かさまの森林(もり)を元気にしよう！

| 取組指標            | 現状(H27) | 中期(H32) | 長期(H37) | 平成28年度 |
|-----------------|---------|---------|---------|--------|
| 森林・里山保全活動への参加人数 | 1,045人  | 1,050人  | 1,050人  | 1,538人 |

#### 実施内容

森林吸収源としての機能をはじめ、水源かん養機能や国土保全機能など多様な公益的機能を担う森林の役割や重要性について周知を図り、地場産材の積極的な利用や里山保全活動に積極的に参加・協力するよう呼びかけます。また、里山づくりや森づくりに努めます。

●5月7日(土)愛宕山で、(株)カスミによる植樹祭が行われた。この活動は、地球環境保全活動の一環で平成23年度から実施されています。

なお、植樹祭には市民、関係者など670人が参加しました。

●緑の少年団活動(市内4団体)

団体活動を支援し、愛宕山、佐白山、仏頂山、北山公園の清掃活動や森林環境教育、ハイキング等を行いました。

(稲田小学校わがくに緑の少年団248人、友部緑の少年団31人、北川根小学校緑の少年団273名、岩間第一小学校あたご緑の少年団316人)

#### 〈評価・課題〉

計画的な間伐や平地林、里山林の整備などにより健全な森林の育成を図りました。

また、森林資源の活用促進として、緑の少年団活動等を支援し、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図りました。

今後も、健全な森林の整備や木材の利用の促進、ボランティア活動への参加を促すなど、森林環境教育を推進していきます。



## 4-2 環境にやさしい交通推進(スマートムーブ)

〈ねらい〉 講習会や学校の授業において、交通利用の在り方を見直したり、公共交通利用や徒歩、自転車による移動がしやすい環境を整備することで、環境負荷が小さい交通利用を促進し、市内における運輸・移動による二酸化炭素や大気汚染物質の排出量の低減を図ります。

〈実施事業〉 スマートムーブを実践しよう！

| 取組指標        | 現状(H27) | 中期(H32) | 長期(H37) | 平成28年度 |
|-------------|---------|---------|---------|--------|
| スマートムーブ参加者数 | 182人    | 190人    | 200人    | 154人   |

### 実施内容

自動車利用において、エコドライブを心掛けるとともに、日々の移動手段を自家用車のみにも頼るのではなく、公共交通機関、自転車などをかきこく使い分けるなど環境に優しいライフスタイルを推進します。

●かさまスマートムーブプロジェクトを、1月16日から1ヶ月間を活動期間に設定し、市民・市内事業所を対象に実施しました。



### 参加団体など

|                  |                |             |
|------------------|----------------|-------------|
| 大化工業(株)          | 関東セキスイハイム工業(株) | キャノンモールド(株) |
| イオンリテール(株)イオン笠間店 | 笠間SC協同組合       | 常陽銀行友部支店    |
| 常陽銀行岩間支店         | 笠間市役所          | かさま環境を考える会  |
| ごみを考える会          | 株式会社バイオ笠間      | 一般市民        |

### 〈評価・課題〉

地球温暖化防止対策に向けて、公共交通機関や自転車利用等の普及・推進を図るため、かさまスマートムーブプロジェクトを実施しました。平成28年度は、活動期間が1月・2月の寒い時期となってしまったことや市民・事業所への周知不足から参加者数が予想を下回ってしまいました。

今後は、活動期間のがしやすい季節の実施とプロジェクトの普及啓発を図ってまいります。

※スマートムーブとは(エコドライブ+エコモビリティ)

【エコモビリティ:公共交通機関、自転車などを利用して移動すること】

地球温暖化防止活動の一環として、“「移動」を「エコ」に。”をテーマに、エコで賢い移動方法を選択し、CO<sub>2</sub>排出量の少ない「移動」を推進する取組です。

### 4-3 市民の主体的な温暖化対策促進

〈ねらい〉 省エネの取組や電力消費量の“見える化”など、家庭において日常生活のなかで実践できる地球温暖化対策について紹介するとともに、参加型の取組を実践したり、インセンティブ（意欲の刺激）を付加したりすることにより、活動の促進を図ります。

〈実施事業〉 緑のカーテンを育ててみよう！

| 取組指標  | 現状(H27) | 中期(H32) | 長期(H37) | 平成28年度 |
|-------|---------|---------|---------|--------|
| 種の配布数 | 2,000袋  | 2,000袋  | 2,000袋  | 2,000袋 |

#### 実施内容

家庭や事業所などにおいて、植物を利用した「緑のカーテン」を設置し、冷房負荷を抑制することを推進します。また、種の無料配布を行います。

（緑のカーテンを設置した市施設）

- 市庁舎ほか公共施設（12箇所）
- 市内小・中学校・保育所（12箇所）

実施施設：南小、稲田小、宍戸小、友部小、北川根小、友部第二小、大原小  
岩間第三小、稲田中、ともべ保育所、くるす保育所

植栽植物：アサガオ、ゴーヤ、フウセンカズラ、キュウリ、ヘチマなど



- 緑のカーテンタウン事業では、緑のカーテンの普及と地球温暖化防止対策への意識啓発を図ることを目的として、ゴーヤの種を約2,000世帯に配布しました。

#### 〈評価・課題〉

公共施設への設置や緑のカーテンタウン事業でゴーヤの種を配布するなど、緑のカーテンの普及による地球温暖化防止対策への意識啓発を図りました。

今後も、公共施設における設置を推進していくとともに、家庭や事業所等への普及に向けた取組を展開して、夏の省エネによる環境負荷の低減や、市街地緑化を推進していきます。

また、インセンティブ（意欲の刺激）を付加するためコンテストを開催するなどを検討します。

## 【環境教育・学習・活動の促進】

### 5. 環境学習・環境保全活動促進プロジェクト

#### 5-1 主体的な環境教育促進

〈ねらい〉 こども達が、自ら環境保全に関する課題を発見し、対策を検討し主体的に取り組む主体的な環境教育の実施を通じて、身近な環境教育に関心を持ち問題意識を持つとともに主体性を養う。

〈実施事業〉 涸沼川・巴川を探検しよう！

| 取組指標 | 現状(H27) | 中期(H32) | 長期(H37) | 平成28年度 |
|------|---------|---------|---------|--------|
| 参加者数 | 27人     | 35人     | 40人     | 37人    |

#### 実施内容

クリーンアップひぬまネットワークや霞ヶ浦問題協議会で開催する各探検隊に参加して河川の環境問題について勉強します。

##### ① 涸沼川探検隊（担当課：環境保全課）

7月27日（水）市内小学生25人参加  
市の代表的な河川である涸沼川をもっと身近に感じ、水質浄化意識の高揚を図ることを目的に「涸沼川探検隊」を実施し、水生生物の調査や簡易水質検査（パックテスト）などを、環境省自然公園指導員 矢野先生の講義を受けました。



##### ② 巴川探検隊（担当課：岩間支所地域課）

8月11日（木）市内小学生12人参加



愛宕山から北浦（霞ヶ浦）に流れ込む巴川の水辺の環境学習を目的として「巴川探検隊」を実施しました。この事業は、巴川流域の笠間市ほか3市町で構成され、毎年約100人が交流を深めています。本年度は、茨城県環境科学センターに於いて、水辺に関する環境学習及び霞ヶ浦湖上体験スクールを実施し、霞ヶ浦の水質浄化について学習しました。

#### <評価・課題>

涸沼川・巴川探検隊の活動を通して、河川の水質や動植物について学び水質浄化意識の高揚を図ることができました。

今後も、こども達が主体的に様々な環境学習に参加できるような体験・学習機会の拡充を図ります。



## 5-2 市民環境学習促進

〈ねらい〉 子どもから大人までを対象に、身近な環境から地球規模の環境問題まで幅広く環境について、学び体験する機会を提供するとともに、環境に対して関心をもち、主体的に環境保全活動に取り組む意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 環境寺子屋に行こう！

| 取組指標 | 現状(H27) | 中期(H32) | 長期(H37) | 平成28年度 |
|------|---------|---------|---------|--------|
| 開催回数 | —       | 4回      | 6回      | 3回     |

### 実施内容

地域の環境資源を活用し、講師による市民参加型の「環境寺子屋」を開催します。

#### ① 「地球温暖化講座・自分でつくる保冷剤」

8月3日(水) 参加者25名 会場：友部公民館 会議室

講師：茨城県地球温暖化防止活動推進員 岸 倫男 氏

地球温暖化について、小学3年生～6年生を対象にクイズ形式の講座及び保冷剤づくりを実施しました。



#### ② 「外来生物とジオパークを勉強しよう」

12月22日(木) 参加者27名

視察先：茨城県自然博物館(坂東市) 地質標本館(つくば市)

講師：筑波山地域ジオパーク推進協議会 会員 堤 徳郎 氏

「環境よくばりツアー」と題し、茨城県自然博物館と地質標本館へ視察研修を実施し、外来生物とジオパークについて学習しました。



### ③「環境にやさしい地中熱の利用を考える」

2月9日（木）参加者80名

会場：笠間市地域交流センターともべ（トモア）

講師：茨城県再生可能エネルギーアドバイザー 内田 洋平 氏

市内の公的施設として、初めて地中熱利用の空調設備を導入した「地域交流センターともべ」が平成29年1月に竣工。この施設への導入を契機に、省エネルギーやCO<sub>2</sub>削減に寄与する地中熱の利用について、市民へ啓発するため、同施設において講演会を実施しました。



#### <評価・課題>

環境寺子屋を3回開催し、子どもから大人までを対象に環境について学ぶ機会を提供することができました。

今後も、幅広い市民を対象にした環境寺子屋を企画し、主体的に環境保全課活動に取り組む意識の醸成を図ります。

### 5-3 市民環境活動促進

〈ねらい〉 情報提供や活動内容・成果披露の場の提供、実施体制の強化など市民・事業者が行う環境保全活動に対して支援を行うことで、各主体が環境保全活動を行う環境を整備し、その取組促進を図ります。

〈実施事業〉 環境イベントに参加しよう！

| 取組指標        | 現状(H27) | 中期(H32) | 長期(H37) | 平成28年度 |
|-------------|---------|---------|---------|--------|
| 環境イベント参加団体数 | 10団体    | 12団体    | 14団体    | 13団体   |

#### 実施内容

日頃の環境活動や環境学習成果を環境イベントに参加して発表する。

- 10月15日（土）に笠間総合公園管理棟前広場において、「かさま環境フェア2016」を開催しました。かさま市民運動会と同時開催したため、来場者は423名（スタンプラリー台紙回収数）で前年を上回りました。

#### ● イベント内容

- 1) 環境美化マナーに関するポスター入賞者表彰
- 2) 第7回笠間市花壇コンクール入賞団体表彰
- 3) おもしろ理科先生の「身近な科学マジック」
- 4) 団体・事業所による環境に関する体験・展示



#### ● 参加団体

|                 |                 |                  |
|-----------------|-----------------|------------------|
| ごみを考える会         | (株) バイオ笠間       | かさま環境を考える会       |
| ジャパンテック (株)     | 関東セキスイハイム工業 (株) | 岩間上郷地域ホテル増やそうかい  |
| いばらきエコの会        | ヤマブキを育てる会       | 茨城シニアマスター        |
| 筑波山地域ジオパーク推進協議会 | 笠間市消費者友の会       | クリーンアップひぬまネットワーク |
| エコフロンティアかさま     |                 |                  |

#### 〈評価・課題〉

かさま環境フェア実行委員会を組織し、市民団体・事業所と協働で「かさま環境フェア2016」を開催しました。そして、日頃の環境活動を行っている成果を発表する場を設けることができました。

今後は、イベント内容について広報誌やホームページ等により事業の周知・啓発を図るとともに、イベント内容の充実を図ります。